

漫然運転

疲労・集中力低下から 危険な漫然・覚低走行へ

- ・覚低走行で路外逸脱し、電柱に接触した。
- ・走行中、ぼんやりしてしまいハンドル操作を誤って、道路工事現場に突っ込んだ。
- ・前方に停止中の車があったにもかかわらず、漫然と運転していたため気づくのが遅れ追突、玉突きとなった。
- ・車線変更する際に確認不足でとなり車線の車両に接触した。

今年度は、対物接触事故多発！

- 運転者 1人ひとりの
体調管理徹底と、運行時の対処法
- ・休憩場所の把握
 - ・覚醒刺激の携行(飴・ガムなど)
 - ・停車し休憩する判断力(※重要)



小休憩
その判断力が
大事故ふせぐ

見直そう慣れの作業

作業中の重大事故が連続発生

○積み込みや付帯作業にも注意が必要

- ・コンテナの荷下ろし中、荷崩れが起こり、近くにいた作業員が巻き込まれ死亡した。
- ・ユニック車で荷を積込中、吊荷が落下し、ドライバーが下敷きになり死亡した。
- ・仮眠中にサイドブレーキが外れ車が動きだし、前車に追突した。
- ・クレーン作業後、ブームを納めず走行し、電線を切断した。
- ・ダンプの荷台を上げたまま走行し、電線を切断した。



今年度は、上げっぱなし・出しっぱなし・向けっぱなし等での事故が増加！

○構内事故の半分以上はバック事故

事故の件数からも、トラックのバック動作は危険(リスク)が高い動作といえます。

- ・バック動作時の会社のマニュアル徹底
- ・できる限りバックはしない動線で
- ・夜間や障害物がある箇所では

【一旦降りて自分の目で確認する】



構内での事故事例